きよさと 組合だより

JA 清里町

No.338

8月4日　秋小麦刈り取り始まる。

江南の圃場にて　青野徹氏ドローンにより撮影

もくじ

夏季懇談会に組合員多数参加……2
『第2回秋小麦青空教室』……2
第45回青年部スポーツ交流会開催……3
第15回JA清里町女性部
スポーツレクリエーション……4
女性部視察研修……5
フレッシュミズ部視察研修……6
フレッシュミズ部夏期学習会
及びスポーツ交流会……7
アカシヤ部会が清楽園慰問……8
長いも生産組合十勝視察研修……9
平成28年度 第1回廃プラ回収……9
清里町のうきょう年金友の会「パークゴルフ大会」……10
清里町社会福祉 協議会車両に
クレバーシールドを 施 工……11
平成27年度北見管内乳質改善対象
乳質選抜条件大賞受賞……12
JA清里町・（株）竹中土木プロジェクトチーム
エンジニアリング功労者賞受賞……12
JAバンク食農教育応援事業……13
くるるの杜でオホーツクフェア開催……14
ご当地グルメグランプリ2016-in大樹……14
JAオホーツク野球大会開催……15
お肉を食べて健康に……15
今こそJA！～その意義と役割～……16
日本農業新聞並びに『家の光』ニ誌購読の奨め！……18
ベジタブル・ライフ……19
理事会の経過をお知らせ致します……20
組合員状況……20
「道民と食と農でつながるサポーター
５５０万人づくり」……21

2016年 8 平成28年

夏季懇談会に組合員多数参加

麦作事業と暫定指標面積について

平成28年度の麦作操業スタートを目前にした7月19日、ＪＡ夏季懇談会を午前と午後の2回に分けて農協2階会議室において開催しました。

冒頭、石井組合長から挨拶の中で、春耕期の時き付け時点においての風害被害の発生、6月中から現在までの天候が低温で推移、選挙等に絡んだ今後の農政諸問題として、ＴＰＰ情勢や指定生乳者団体の見直し議論やＪＡに対する改革圧力が想定される状況にあることが報告されました。

続いて懇談事項に入り、主な項目は2点であり、1点目は本年度の麦作事業の取扱いともう1点は、【暫定】平成29年度主要作物指標面積について懇談をそれぞれ行いました。

麦作関係では、チョッパー付きコンバインの取扱いについて、地力増進の意味からも利用料を検討してはとの意見や特に近年発生がみられるコムギなまぐさ黒穂病についての質問や対応について議論が交わされました。

加えてその他の議案では、でん粉工場の整理・統合について、シスト対策洗浄施設と加温設備の工事進捗状況、深層ばっ気処理状況、広域豆類調製施設の事業進捗見通し、シロシスト植物検診の実施について、ペーパーポット新タイプの試験結果、小規模企業共済制度の概要についてを説明し、全日程を終了しました。

『第2回秋小麦青空教室』

青空のもと108名の生産者が参加

5月26日、30日に第2回秋まき小麦青空教室が開催されました。

普及センターの職員を講師として招き、止葉期追肥と赤かび病防除についてお話をいただきました。

参加者に茎数や葉色値を測定してもらい、その数字に基づき講師から現在の状況と今後の追肥について説明がありました。

また、今回はホクレン原料所の職員にもご協力をいただき、てん菜の除草剤、西部萎黄病防除についての講習会も併せて行い、例年よりも充実した青空教室となりました。

第45回青年部スポーツ交流会開催

農業男子達の意地がぶつかり合う！

6月17日清里町トレーニングセンターにおいて第45回ＪＡ清里町青年部スポーツ交流会が開催されました。

桑名達也青年部長より「悪天候により楽しみにしていたソフトボールが綱引きに変更されたが、親睦と健康維持を目的に、今日1日怪我なく、有意義に過ごしてほしい。」と挨拶がありました。その後、石井組合長、湯浅尚樹審判長の挨拶の後、7集団田中伸太郎さん、9集団菅原大和さんの選手宣誓で幕を開けた今大会は、各支部青年部員チームに来賓チームとして営農集団長、普及センター、農業委員会、農民連盟、農協役職員チームの合計139名が参加しました。

試合は3セットマッチの時間無制限、2セット先取制で行われました。

左：田中伸太郎さん。右：菅原大和さん

農業委員チームも頑張りました。

どのチームも日頃農作業で培った力を発揮し、意地と意地とがぶつかり合う激しい戦いとなりました。

結果は、激闘の末、見事上斜里南チームが優勝しました。

大会後は懇親会が行われ、青年部と関係機関が交流できる貴重な機会となりました。多くの方が参加され、和やかな雰囲気の中で様々な話に花を咲かせていました。

風船リレー

玉入れ

第15回ＪＡ清里町女性部 スポーツレクリエーション

チームワーク抜群！ 接戦を繰り広げる

部員113名参加

選手宣誓
４集団吉田富美枝

6月14日、清里町トレーニングセンターにてスポーツレクリエーションを開催致しました。

今年も多くの女性部員が参加し、第４営農集団の吉田富美枝さんの元気いっぱいの選手宣誓で賑やかに幕を開けました。

来賓の櫛引町長・農民連盟山崎委員長・普及センター高松支所長・熊谷専務には『マフラーリレー』に参加していただき、部員と交流を深めました。

かぼちゃの収穫

パン食い競走

『何色がお好き』では菊池部長が投げるサイコロの色を予想する競技で全員参加したのですが、何色が出るか、ワクワクドキドキで盛り上がりました。途中、一人だけ青に移動した部員が見事に当り、ＭＶＰ賞に選ばれました。

他に『玉入れ』、『運は天まかせ』、『風船リレー』、『パン食い競争』、『かぼちゃの収穫』、『坊ちゃん・嬢ちゃん』が行われ、どのチームもチームワーク抜群でとても盛り上がりました。

運は天まかせ

マフラーリレー

総合結果、優勝したのは3連覇となる黄チーム（4・5集団）、2位青チーム（1・6集団）、3位は白チーム（2・9・10集団）、4位赤チーム（3・7・8集団）となりました。

最後に、毎年恒例の〝じゃがいも踊り〟と〝清里音頭〟を全員で踊りました。すべての日程終了後には各支部で恒例の懇親会が行われました。

何色がお好き

坊ちゃん嬢ちゃん

視察研修

余市ニッカウヰスキーと小樽市街を満喫

6月29日～7月1日に小樽・札幌方面で視察研修を実施しました。（参加者　部員49名　事務局1名）

＊『ニッカウヰスキー』　余市

余市蒸留所ではウイスキーの製造工程や歴史を説明していただき、本物へのこだわりと情熱を感じました。

見学後の試飲では深みのある味わいを堪能することができました。

＊小樽オルゴール堂　小樽

オルゴールの手作り体験をしました。それぞれが飾り付けるパーツや砂を接着剤で付けていく作業で、自分が作った世界に一つだけのオルゴールに皆さん満足といった様子でした。

オルゴール作り

＊白い恋人パーク　札幌

敷地内には多くの花が植えてあり、バラがとても綺麗に咲いていました。パーク内ではキャンディー製造を見学、他に、昔のこどものおもちゃの展示があり、懐かしさにまるで子どもの頃の気持ちに戻った様でした。白い恋人サッカー場ではコンサドーレの選手が練習をしており、サッカーを楽しむこともできました。

宿泊先の小樽グランドパークホテルでは、海側の部屋から見る眺めがとても綺麗で、ちょうど豪華客船も停泊していました。食事も大変美味しく好評でした。

自由時間では、小樽や札幌を満喫し、それぞれ楽しんでいました。3日間とも天候に恵まれ景色は最高でした。

小樽のホテルでの宴会で美味しい料理とお酒を堪能

視察研修

バター作り体験を楽しみ ハッカの歴史を知る

6月24日、北見方面で視察研修を実施しました。
（参加者　部員24名　事務局1名）

・ひがしもこと乳酪館（東藻琴）

館内にはチーズのミニ学習室や映像室でチーズづくりの歴史や雑学を学べるコーナーなどがありました。

ここではバター作りを体験し、牛乳が入っている瓶を10分～15分ほど振り続けました。

子ども連れの方でも協力しながら皆さん、上手にバターを完成させていました。

・北見ハッカ記念館（北見）

戦前、世界のハッカの約7割を生産していたという北見ハッカの歴史を伝える史料館で乾燥ハッカの標本や世界中のハッカ製品など様々な資料が展示されています。隣接された別棟の薄荷蒸溜館ではハッカの蒸溜実演を行っておりその様子を見学することができました。現在は昔よりもハーブを作っている人は少なくなったとのことで、契約農家にハーブを作ってもらいハッカ油を作っています。

必死にビンを振りバターを作る。

自分で作ったバターは早速家に持ち帰り家族に食べてもらうととても好評だったとの事でバターの美味しさに感動といった声が多かったようです。

初めて参加した部員も部員間で交流を深めており楽しんでいる様子でした。

ハッカの蒸留実演ｈ

夏期学習会及び
スポーツ交流会

防災について知識を深める

学習会「防災のはなし」で熱心に聞く。

7月12日、学習センターで学習会、午後からはトレーニングセンターでスポーツ交流会を行い、部員31名が参加しました。

学習会では役場の総務課管財グループ総括主査三浦氏を講師に招き「防災のはなし」と題し説明していただきました。

スポーツ交流会ではドッチボールを行い、見学者が多く参加者は少なかったものの、怪我も無く、交流を深め楽しんでいる様子でした。

これからの行事として、12月には料理交流会、1月には冬期学習会・スポーツ交流会を予定しています。フレッシュミズ部に入っていない方でも、自己負担となりますが、各行事にお試しで参加できますので、多くの参加をお待ちしています。よろしくお願いします。

子連れママも一緒にドッヂボールでハッスル!!

アカシヤ部会が清楽園慰問

美味しい団子に皆さん大喜び

でん粉団子

6月9日、アカシヤ部会（澤田久美子部長）は町内の特別養護老人ホーム清楽園で長芋団子とでん粉団子を作り慰問を行いました。

8名の部員と女性部よりお手伝いの3名、計11名で午前中は長芋団子の作り方をアカシヤ部会から女性部員へ、午後からは清楽園ででん粉団子作りをそれぞれ伝授し入園者の皆さんに振る舞いました。

毎年6月と11月に慰問しており入園者の皆さんは毎回楽しみにしており、今回も何度もおかわりをする姿が見受けられました。

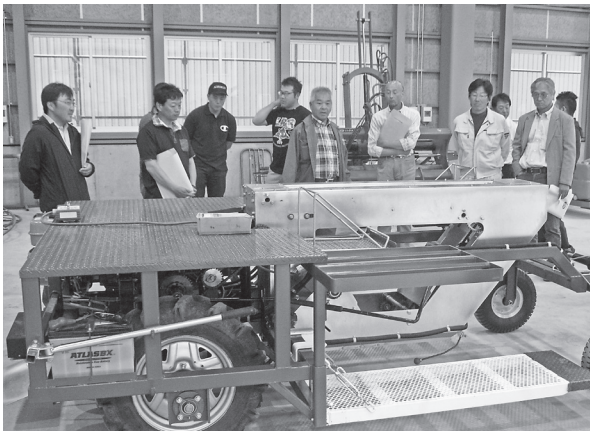
蒸かした長芋をつぶす

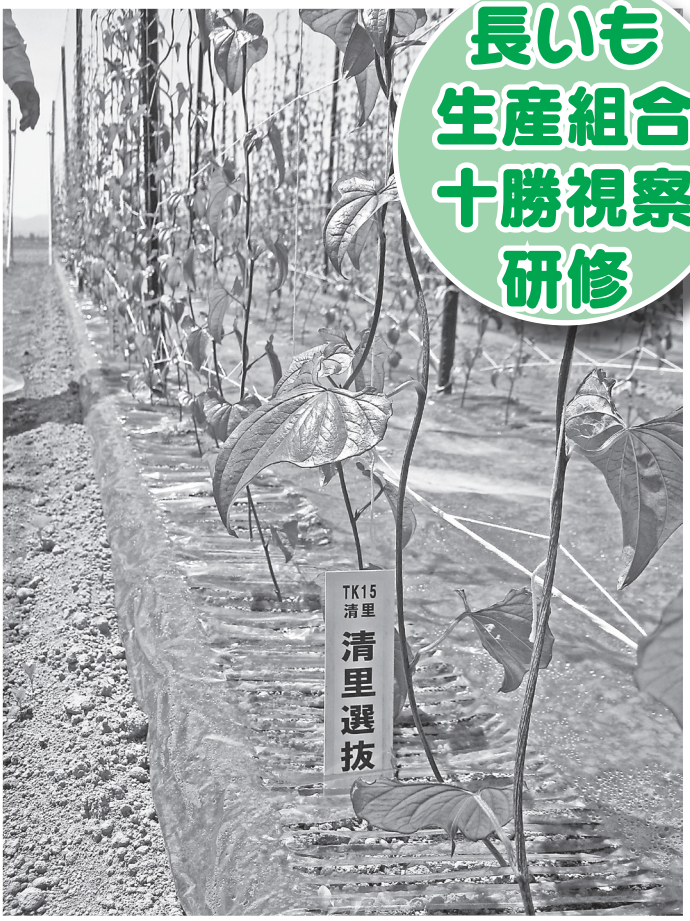
長芋団子

もっちりとした長芋団子に水飴を使って作ったタレをかけるととても美味しく皆さん喜んでいました。

次回は11月に芋団子とでん粉団子を振る舞う予定です。

長いも生産組合十勝視察研修





7月6日～7日の2日間で長いも生産組合は、十勝方面へ視察研修に行って参りました。

初日は、(有)トラスト機工へお邪魔し、収穫機や立ったまま植付できる植付機などを見学させていただきました。その後、音更町の長芋圃場では、新品種の『きたねばり』を見学させていただきました。『きたねばり』は、根長が60㎝前後となっているので、100㎝以上深耕のできない新しい畑でも長芋を作付できるので少しずつ面積を増やしているとのことでした。次に帯広大正では、高畦栽培をしている長芋圃場を見学しました。2日目は、十勝農業試験場の圃場にて『十勝太郎』や『きたねばり』の安定栽培に向けた試験を見学し、数年前に提供した『清里選抜』があり、「萌芽が大変良い」との評価をいただきました。

今回、数年ぶりに長いも生産組合全体での視察研修を行いましたが、今後も長芋栽培の知識向上及び組合員同士の交流機会を作れればと考えております。

平成28年度 第1回廃プラ回収

7月7日、8日の両日、神威麦作センターにおいて、今年度1回目の農業用廃プラスチック等の回収を実施しました。2日間ともに好天に恵まれ、組合員155戸、トラック台数で174台、ポリ・ビニール・農薬容器・長芋ネットなど合計で約67ｔの回収を行うことができました。

回数を重ねるごとに回収量が多くなっており、組合員各位のリサイクルに向けた意識の高さを実感しているところであります。

次回の回収は11月中旬を予定しておりますので、今後もリサイクルに向けたご理解とご協力をお願い致します。

清里町のうきょう年金友の会
「パークゴルフ大会」

好プレー続出で大盛り上がり！

7月20日、清里町のうきょう年金友の会（石川頼明会長）は緑ヶ丘公園において平成28年度夏季レクレーション「パークゴルフ大会」を開催しました。

朝から霧雨が降って芝生が濡れている中でのプレーとなりましたが、60歳～89歳までの55名が参加しました。

小雨が時折降る中、ボールが当たる良い音が鳴り響き、天候に左右されることなく日頃の腕前を発揮していました。

プレー中は、笑い声も聞こえ楽しく会話も弾み、親睦を深めておりました。

大会終了後、緑清荘にて懇親会を開催し、成績発表では各賞のお名前が呼ばれるごとに歓声が沸き、大いに盛り上がりました。

【優　勝】
男性部門　牧野　俊（打数44打）
女性部門　石井　葉子（打数51打）

【準優勝】
男性部門　田中　博光（打数45打）
女性部門　山嵜志恵子（打数51打）

【3　位】
男性部門　武山　栄勝（打数45打）
女性部門　大平恵美子（打数52打）

【ホールインワン賞】
樫村　英子

※同打数の場合は、年齢により順位を決定

★今後の主な行事

平成28年
8月18日　ゲートボール大会
平成29年
1月19日　マージャン大会
3月21～23日　温泉保養親睦会

清里町社会福祉協議会車両に
クレバーシールドを施工

7月22日、清里町社会福祉協議会に対し、北海道赤い羽根共同募金会より、福祉車両が贈呈されました。北海道内から寄せられた志は、各地域の福祉活動や生活支援の助成金として充てられ、今日の地域福祉事業を支えています。

この度、当農協は、地域社会に対する貢献活動の一環として、昨年より農業機械センターにて行っている光触媒ボディーコーティング『クレバーシールド』を今回贈呈された福祉用車両に無償にて施工させていただきました。3年間ノーメンテナンス、ノーワックスにより、いつまでもきれいに、そして、手間のかかる車両管理の負担軽減が可能なこのコーティングは、これまでに180台を施工し、現在では町外からの受注も増え、自信を持って提供できる看板商品にまで至りました。

今回のような農業以外の地域への関わりは、当農協が掲げる事業方針のひとつでもあり、この度の取り組みとなりました。

平成27年度北見管内乳質改善対象
乳質選抜条件大賞受賞

第9営農集団植田孝充さんは平成27年度生乳生産において生乳検査成績平均が生菌数0・1万（町内平均0・2万）、体細胞12・5万（町内平均19・5万）と乳質が非常に良く、衛生的乳質の選抜基準を満たし、北見管内乳質改善対象乳質選抜条件大賞を受賞しました。

〈選抜条件〉
○平成27年度乳質成績（平成27年4月～平成28年3月）
○36旬検査を行った生産者（1月3旬検査）
○36旬検査において生菌数1・4万以下・体細胞20・9万以下

JA清里町・(株)竹中土木プロジェクトチーム
エンジニアリング功労者賞受賞

7月19日JA清里町・(株)竹中土木による超深層曝気法を用いたでんぷん工場排水の液肥化プロジェクトチームがエンジニアリング功労者賞を受賞しました。

この賞は、エンジニアリング産業の振興発展に貢献し、その功績が特に顕著であると認められたグループや個人が選ばれます。

今回のプロジェクトはでんぷん工場から出るたんぱく質を多く含む高濃度有機排水を平成以降国内最大級の施設容量深層爆気法により処理することで、貯蓄池近隣住民から苦情が発生していた液肥の悪臭を除去し、排水をそのまま農地に散布するよりも微生物によって非溶解性の肥料成分に移行し、有機物（微生物）に富んだ良質な液肥とすることを可能にしました。

●JAバンク食農教育応援事業

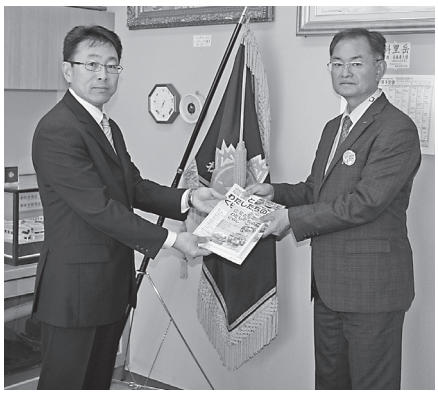
教材本を小学校へ配布

5月27日、清里・光岳・緑町小学校の5年生、計29名にJAバンク食農教育応援事業として教材本を配布しました。

JAバンクでは、子供たちが食・環境等と農業のつながりを意識し、農業への理解を深めるきっかけとなることを願い、補助教材を小学校に贈呈する「JAバンク食農教育応援事業」を平成20年度より展開しています。

この事業の一環として「農業とわたしたちのくらし」の補助教材本とDVDを贈呈しました。

学校からは「学校の畑に毎年、子供たちの手によりいろいろな作物を植えており、食に関心を持っている子供たちが多いので、この教材を使って『食』と『農』の大切さを学んでほしいです。」と喜ばれました。


清里小学校

緑町小学校

光岳小学校

くるるの杜でオホーツクフェア開催

清里町農産加工物をPR

ＪＡ清里町ＦＡプロジェクトチーム、長いも生産組合、清里焼酎醸造所は７月16日、17日両日、北広島市にあるホクレンくるるの杜においてオホーツクフェアに参加し、生うどん、生ひやむぎ、長芋、清里焼酎の試食販売会を行いました。

生うどん、生ひやむぎを、試食をした方からは「風味がいい」、「麺が甘い」、「コシがありのど越しが良い」との声が多く共に好評でした。また、長いも、清里焼酎は知っている方が多く、「清里の長いもは美味しいよね」、「清里は焼酎が有名だよね」とこちらも好評でした。

今後は、札幌丸井今井にある北キッチンで生ひやむぎを販売予定で、さらなる販売数量拡大を目指し、頑張って参ります。

試食は大盛況でした

ご当地グルメグランプリ2016in大樹

FA（フードアクション）プロジェクトチームが参加

７月１日、２日両日、十勝の大樹町においてご当地グルメグランプリ２０１６が開催され、当農協のＦＡプロジェクトチームより２名の職員が参加しました。

全道各地から10団体が参加し、今回のグランプリは初日に雨が降ったにも関わらず来場者が１万３千人を超え大いに盛り上がりました。

清里町からはご当地グルメである「虹色うどん」を出展しました。

総合順位も昨年より上がり、今後ますます清里町をＰＲしていける様、ＦＡプロジェクトチーム一同努力していきます。

JAオホーツク野球大会開催

奇跡の大逆転勝利！

7月13日、14日の両日で開催された第58回オホーツクJA野球大会において、JA清里町野球部がベスト4になりました。

当農協野球部戸出主将の力強い選手宣誓で大会が始まりました。

初戦は不戦勝で2回戦JAえんゆうとの試合は初回相手先頭打者にいきなりホームランを浴びるなど2回までに3点を先制される苦しい展開となりました。当農協も4回に岩崎職員の犠牲フライで1点を返すも、6回表に1点を取られ万事休すかと思われましたが、最後まで諦めない清里ナインはその裏に相手投手を攻略し、打者一巡の猛攻で一挙4点を奪い逆転に成功し見事5対4で勝利しました。

試合後の記念撮影

選手宣誓する戸出主将！

続く準決勝JA斜里町戦では、初回に1点を先制されるものの、2回に城村職員のヒットですぐさま追いつきました。しかし、その後は相手投手に抑え込まれてしまい。1対5で敗れてしまいました。

今シーズンは怪我なく無事に終了することができましたが、来シーズンも怪我なく今年以上の成績を残せるよう野球部一同努力していきます。

お肉を食べて健康に！

日本獣医生命科学大学応用生命科学部教授●西村敏英

★うま味物質と脂肪の役割

近年、肉が良質なタンパク質を豊富に含む食品として知られるようになり、「高齢者が適量の肉を食べる事は健康維持に重要である」といわれるようになりました。65歳以上の世帯主の家庭が1年間に消費する肉の消費量が、この10年間で16・7％もふえていることから、「良質なタンパク質＝肉」という考え方が一般に広まってきたといえるでしょう。

肉は幅広い年代に好まれています。生牛肉の香りはほとんどしませんが、加熱すると肉特有の香りが一気に強く感じられるようになります。この香りに加え、味や食感などのさまざまな要因が美味しさに関わっています。一般的に美味しい肉は、柔らかく、噛んだ時に肉汁があふれ出て、肉独特の好ましい香りが広がります。この香りを強めているのが、肉汁に含まれているうま味物質である事が分ってきました。かめばかむほど肉汁に含まれるうま味物質が出てきて、肉の味わいが口いっぱいに広がります。

こくという言葉がよく使われますが、こくは、味、香り、食感などで感じられる複雑な濃厚感、持続性の事です。肉のこくには、脂肪とうま味成分のグルタミン酸やイノシン酸が重要な役割を果たしています。和牛肉の「A5」や「B5」の肉は、霜降りの割合が非常に高いので、とても軟らかく、牛肉独特の風味が強いだけでなく、持続性が感じられます。和牛独特の甘い香りは「A2」「A1」「B2」「B1」では、強く感じられません。また、霜降り肉は、十分に火を通しても硬くならないので、ステーキやすき焼き、しゃぶしゃぶにすると、肉の特徴が出てより美味しく食べられます。

肉質だけでなく、個人の好みや調理の仕方でも大きく異なります。例えば「A3」や「B3」で、焼き肉、ローストビーフ、煮込み料理はいかがでしょう。霜降りの割合がそれほど高くないので少し硬めですが、赤身肉の美味しさが味わえる献立です。

今こそJA！ ～その意義と役割～

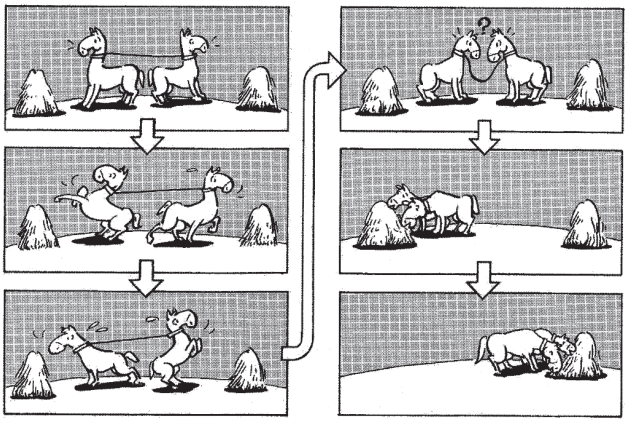
★協同とは？

最近、マスコミ報道等でJAに対する様々な批判を耳にします。確かにJAグループとしても解決しなければならない多くの課題があり、その解決に向けて自ら改革を進めているところです。しかし、JAに対する批判の中にはJAのことを良く理解していない、事実無根のものが存在するのも事実です。まずは私たちのJAが果たしている意義や役割について考えてみることにしましょう。

協同とは何でしょうか？「共同」という言葉と読み方は同じですが、国語辞典によると、協同とは「心を一つに力をあわせて仕事をすること」とあります。ここで心を一つにするというのが大きなポイントです。

左の図を見て下さい。2頭のロバの首に紐が結ばれており、お互いが力を合わせることでうまくいくという「協同」の形を表現しています。この絵を見たある青年部員から「今はこういう時代じゃないよ。個人としてどうするか考えるべきじゃないか」という発言がありました。その青年部員の言うとおり個人の自由というのは何ものにも代えがたい大切なものです。一緒に食べるだけが協同ではない、この紐を協同の力で切るという考え方もあるのではないでしょうか？

協同の姿も時代とともに変っていくのかもしれません。しかし、どんなに時代が変っても、協同の考え方そのものは決して廃れることはないでしょう。いま協同という言葉の意味を1人1人が考える時期に来ています。



★JAと株式会社の違い

皆さんはJAと株式会社の違いをはっきりと言えるでしょうか？今回はわかっているようでわからないJAと株式会社の違いについて考えてみましょう。

左の図を見て下さい。株式会社の目的は利潤の追求です。ライブドアの前社長だった堀江貴文氏は「株主に最大限の利益をもたらすことが株式会社の社長の責任である」という言葉で株式会社をわかりやすく表現していました。一方、JAの目的は組合員の営農と生活を向上させることであり、営利を目的とはしていません。JA事業で収支がプラスとなった場合、それは利益ではなく剰余金となります。ここが決定的に違います。

また、組織運営を比較すると、株式会社の組織者は株主であり、利用者は不特定の顧客であり、運営者は株主の代理人である取締役社長などの経営者です。JAはどうでしょうか？組織者も利用者も運営者も組合員、すべては組合員の組織であることがわかります。

また、JAと株式会社では組織決定の方法も異なります。株式会社の場合、株式を多く所有する株主が会社を支配することができますが、JAの場合、一人の組合員に与えられる議決権はあくまでも一票です。このことが民主的運営の基盤となっています。

それではJAと株式会社に共通点は無いのでしょうか？前述の堀江貴文氏は「成功する人は他人の力を上手に利用できる人である」とも言っています。組織を左右するのは人であるという点においてJAも株式会社も同じといえるかもしれません。

	JA（農業協同組合）	株式会社
目　的	組合員の営農と生活を守り向上させること	利潤の追求
組織者	組合員（＝農業者）	株主（＝投資家、法人）
利用者	組合員	顧客（不特定多数）
運営者	組合員（代表として理事）	経営者（株主代理人）
運営方法	1人1票制（民主的運営）	1株1票制（株主支配）

★ロッチデール公正先駆者組合はなぜ生まれたか？

19世紀半ば、イギリスの労働者は低賃金による生活苦にあわせて、生活用品の高騰、さらに商品の品質や重量を偽って設ける悪徳商人が横行するなど劣悪な生活環境におかれていました。

こうした中、1844年、社会運動家ロバート・オウエンの考え方をもとに、イギリスのランカシャー州にあるロッチデールという小都市で織物職人28名が1人1ポンドを出し合い、協同組合を設立することに成功しました。これが世界初の協同組合である「ロッチデール公正先駆者組合」です。その形態は現在の生活協同組合と同じものと言われています。

この組合が成功した理由の一つとして、組合員が自ら出資金を拠出し合い、必要なものを協同で調達して分け合う仕組みをとったことです。これは他人任せではなく、自らの暮らしを協同の力で守るということが根底にありました。

もう一つは、組合員が運営するためのわかりやすいルールを定めたことにあります。1．購買高による剰余金の分配、2．品質の純良、3．取引は市価で行う、4．現金取引、5．組合員の平等（一人一票制）、6．政治的・宗教的中立の原則、7．組合員の教育促進、などを運営原則として定めました。これは「ロッチデール原則」と呼ばれ、その後いくつかの修正を経ながら今日の協同組合原則に受け継がれています。

ロッチデール組合の設立から172年後の現在、協同組合は世界で組合員数が10億人を超える組織に成長したのです。

＊　ロバート・オウエン（1771～1858年）　イギリスの社会運動家。協同組合運動の父といわれる。

★ライファイゼンの農村信用組合

ドイツではイギリスよりも少し遅れて産業革命が起こりました。やがてドイツの農村にも貨幣経済の波が押し寄せ、商人の収奪が横行する中、資金を年率100％という法外な金利で貸し付ける「高利貸し」に頼らざるを得ない状況となり、さらにこれとあわせて凶作が発生するといった悪循環に陥っていました。

こうした惨状を目の当たりにしたライファイゼンは、すすんで富裕者の寄付を仰ぎ、慈善組合を作って困っている人に食糧を与えたり貸付を行ったりしましたが、すぐに事業は行き詰まってしまいました。ライファイゼンは失敗した原因を考えた結果、人に頼り切るのではなく、何よりも自助の精神が基本になければならないと悟ったのです。こうしてライファイゼンは1862年に初めての農村信用組合を作りました。

この農村信用組合は高利貸しに対抗するための仕組みとして、組合員相互が無限責任を負う（他の組合員の負債を連帯保証する）ことで信用力を高めながら、金融業者からまとめて金を借りて、それを組合員同士で低利で融資するものでした。その後、ライファイゼンの農村信用組合は信用事業だけではなく、販売事業や購買事業も行うようになったのです。

こうした信用事業を核とした総合事業の発想は日本の産業組合、現在の農業協同組合のモデルになったといわれています。ライファイゼンが引用したといわれる「一人は万人のために、万人は一人のために」という言葉は今も生き続けているのです。

＊2　F.W.ライファイゼン（1818～1888年）　ドイツの農村信用組合の創始に尽力した。

日本農業新聞並びに『家の光』三誌購読の奨め！

『家の光』創刊のことば（志村源太郎「共同心の泉」）

力の弱い一人一人が、とても出来ない仕事でも、二人が一人となりて、しつくり組合へば、案外たやすく成し遂げられる。故にわれ等の理想は、同心協力の精神であり、共存同榮の社會である。

産業組合は此の理想を日常の生活に實現せんとするものであるから、之に最も大切なものは組合員の共同精神である。この共同精神を養ふところは、實に組合員の家庭そのものである。親も子も、夫も妻も、老も若きも、互に理解し、互に勵まし、互に慰め、心から協力和合し、一家を擧げて一様に愉快で幸福な家庭に於て、はじめて眞の共同精神が養はれる。家庭は即ち共同心の泉であつて、組合員の力強い共同精神は常に健全なる家庭から流れ出る。其の清い精神を汲み取つて産業組合を培養すれば、必ずや、美しい花が咲き、實がなるのである。

本誌の目的は、この共同心の泉を家庭に於て涵養せんとするに存する。

『家の光』創刊号（大正１４年５月号）より

平素より、日本農業新聞並びに『家の光』三誌をご購読いただいている皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、ＩＴ技術の進歩により、活字離れが急速に浸透し、その加速度は増すばかりです。

その一方で、時代の情報を、必要な人に噛み砕き、判り易く正しく伝える手段には、新聞を始めとする活字が有ります。

残念ながら、新聞にもその内容の解釈は各紙により大きく偏った表現があったり、ときに掲載しなかったりと、記事や内容表現には、思想や政治色が大きく反映する事も知っておく必要が有ります。

そのような中にあって、農業問題を的確に細部まで掘り下げ、正確に伝えている唯一無二の新聞が、日本農業新聞です。また、『家の光』三誌に有っては、大正14年5月の創刊以来、「同心協力の精神と共存同営の社会」をめざし、その購読者の社会的立場に合った内容を、『家の光』『地上』『ちゃぐりん』に集約し発行しています。三誌も時代の要請に応えた内容・構成となっています。

左の文は、創刊当時産業組合会頭として尽力し、日本農政の大御所として活躍された志村源太郎氏の創刊のことば、「共同心の泉」の原文です。時代が変わっても、産業組合から始まった協同組合精神は、91年を経た現在も不変な精神として受け継がれています。

未購読者の皆様には、今一度『家の光』三誌の精神をご理解いただき、ご購読頂きますようご勧誘申し上げます。

なお、申込みにつきましては、経営課が窓口となっておりますので、農業新聞同様、電話又は直接窓口にてお申込み下さい。

経営課　電話２５－２２１３（直通）

シニア野菜ソムリエ
KAORUの
ベジタブルライフ

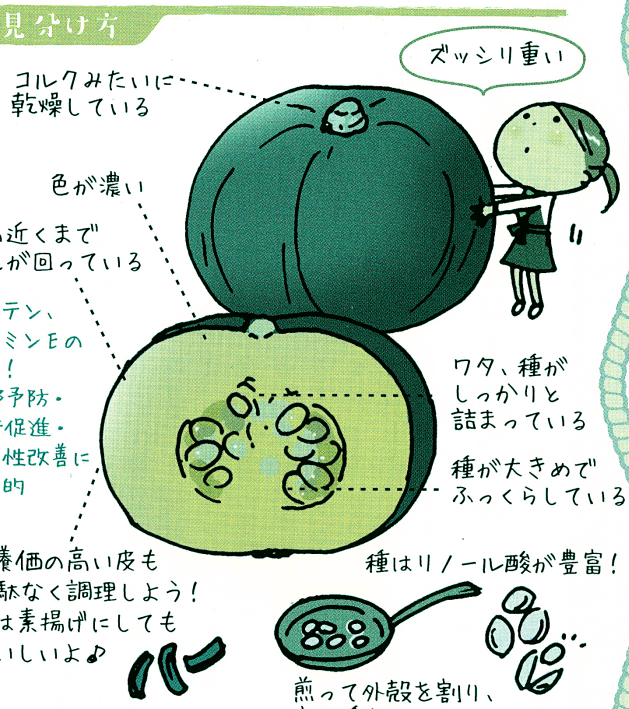
イラスト：小林裕美子

カボチャ
保存性・栄養価・味の三拍子がそろう万能野菜

カボチャのプロフィル
【分類】ウリ科
【原産地】西洋カボチャ：南アメリカ
日本カボチャ：中央アメリカ
【和名】南瓜
【おいしい時期（旬）】8～10月
【主な栄養成分】カロテン、ビタミンC・E、カリウム、食物繊維

解説・KAORU

見分け方



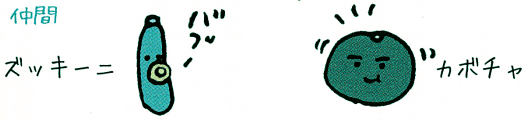
栄養価の高い皮も無駄なく調理しよう！皮は素揚げにしてもおいしいよ♪

種はリノール酸が豊富！

煎って外殻を割り、中の種をおつまみに♪

ウリ科カボチャ属の仲間

野菜の一生のうち、いつ食べる？



ズッキーニ	カボチャ
未熟	完熟
新鮮で若いうちが食べ頃♪	成熟するとおいしさも栄養価もアップ！

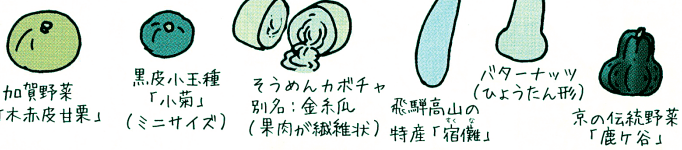
収穫後は丸ごとしばらく置いて追熟させると、甘味がぐっと増しておいしく変身

丸ごとなら冬まで保存が利く貴重な野菜。古くから冬至に食べると風邪を予防するといわれ、寒い時期の栄養源として重宝されてきたよ

カボチャのいろいろ

- 西洋カボチャ（現在の主流品種）
- 日本カボチャ（昔の主流品種）
- ペポカボチャ（ズッキーニ、金糸瓜など）

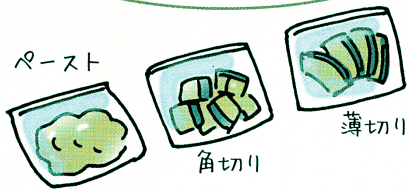
※主に上記3つのタイプに分けられる



保存方法

丸ごとなら常温（冷暗所）で保存可能

カットしたものは傷みやすいので、種とワタの部分を取り除き、ラップして冷蔵庫へ

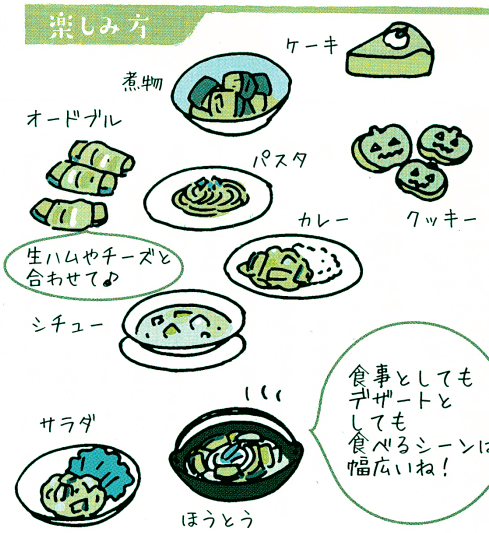


軽くゆでて冷凍もお勧め！（袋に入れて保存）

堅くて包丁が入らないときは…

少しレンジにかけて軟らかくすると切りやすいよ

楽しみ方



食事としてもデザートとしても食べるシーンは幅広いね！

理事会の経過をお知らせ致します

第5回　5月26日

付議事項

議案第1号　平成28年度農作物作付面積実測計画について
議案第2号　農林漁業資金の借入および貸付について
議案第3号　平成27年度ＪＡ清里町ディスクロジャー誌の発行について
議案第4号　リース取引による固定資産の賃借について
議案第5号　平成28年度役員道外視察研修の実施について
議案第6号　従業員に対する6月期賞与の暫定支給について

第6回　6月20日

協議事項

1．持続可能な北海道農業の確立に向けた組織討議について
2．畑作・青果対策の樹立に向けた平成29年度農業予算概算要求に関する組織討議について

報告事項

1．固定資産（土地）の取得について　他17件

付議事項

議案第1号　平成28年度麦作センターの操業計画について
議案第2号　平成28年度麦作センターの自主検定員の選任について
議案第3号　共同利用施設等設備資金の借入について

報告事項

1．平成27年産原料てん菜代金本精算について　他11件

第7回　7月12日

付議事項

議案第1号　平成28年度農産物及び特用作物等作況調査の実施について
議案第2号　（暫定）平成29年度農産物指標面積の設定について
議案第3号　任意積立金（固定資産取得積立金）の取り崩しについて
議案第4号　夏季懇談会の開催と懇談事項について

報告事項

1．畑作・青果対策の確立に向けた平成29年度農業予算概算要求に関する政策提案（全道取りまとめ）について　他14件

組合員状況

〈平成28年8月1日現在〉

■組合員数　〈前回報告より〉

正組合員	（個人）	224名	（変動なし）
〃	（法人）	13法人	（変動なし）
准組合員	（個人）	1,305名	（5名減）
〃	（法人）	0法人	（変動なし）
〃	（団体）	21団体	（変動なし）
	（合計）	1,563	

「道民と食と農でつながるサポーター550万人づくり」

ＪＡグループ北海道のスマホアプリが出来ました。お得なコンテンツが満載なので是非ダウンロードして見てください。

JA²MP
JAグループ北海道

食と農の
おトクな情報に
ジャンプ！
JAグループ北海道の
スマホアプリ。

JA²MP無料配信スタート！

農業イベントや関連施設のチェックインスポットラリー、
直売所から発信するオススメ農畜産物情報など、
JAグループ北海道ならではの、おトクなコンテンツが満載です！

チェックインスポットラリー

農業イベントで、ポイントを貯めよう！

季節の農業イベントや、全道各地に多数あるJAグループ北海道の関連施設（直売所、ガソリンスタンド、JAバンクATM、医療施設、Aコープ等）にチェックインすると、ポイントが貯まる!週末などにお出かけの際は、近くのチェックインスポットを探すこともできる、便利で簡単なポイントラリーです。ポイントを集めると、豪華な景品が当たるプレゼント抽選会に応募できます。

オススメ農畜産物情報

直売所からの、とれたて情報をゲット！

全道各地にあるJAの直売所から、旬の野菜、地域自慢の特産品などの情報をタイムリーに発信!お出かけ先近くの直売所で何が売られているかも、簡単にチェックできます。中には、そこでしか手に入りにくい、珍しい農畜産物も…?さらに、直売所までのルートもすぐにナビゲート!

今月の特集

テーマにそって、食と農に関するおトクな情報や、季節の楽しい農業イベントなどを次々とご紹介!毎月更新していく予定ですのでお楽しみに!

お知らせ

食と農に関する耳よりなニュースを、各JAグループ北海道からお届けします。

ダウンロードは
コチラ

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

●動作環境：iOS 8以降、Android OS 4.4以降を推奨。※OSのバージョン、機種により正しく表示されない場合があります。 ●左記は今後予告なく変更となる場合があります。●「Android」「Google Play」は、Google Inc.の商標または登録商標です。●「iPhone」「App Store」「iTunes」は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。 ●本アプリのダウンロードおよびご利用には別途通信料がかかり、お客さまのご負担となります。（本アプリのバージョンアップの際や本アプリが正常に動作しないことにより再設定などで追加的に発生する通信料を含みます。）

※画像はすべてイメージです。

組合員のみなさまへ
食と暮らを、エネルギーでつなぐ。
Hokuren Service Station

ホクレンSS × ONE PIECE FILM GOLD
サマーフェア2016

行くぞ!!「おいしい秘宝」を探す冒険へ!!!

発行／清里町農業協同組合
北海道斜里郡清里町羽衣町2番地
TEL 0152-25-2211 〒099-4405
編集／組合だより編集委員会
印刷／星印刷工業株式会社

対象期間
7/16 SAT
▼
8/31 WED

ルフィ達と一緒に冒険へでかけよう！

店頭給油(ガソリン・軽油)で北海道地図&ガイドプレゼント!

今年は映画とコラボだ!

期間中の店頭給油(ガソリン・軽油)
50ℓ分のレシートで
もれなくもらえる!

第2弾 9/1 THU ▶ 9/30 FRI

期間中の店頭給油(ガソリン・軽油)20ℓ分のレシートでホクレンSSオリジナル
ワンピースプレミアムグッズなどが抽選で当たる!

「北海道 地図&ガイド」は十分に用意しておりますが、品切れになる場合もございますので、ご了承ください。
※50ℓを超えた端数分については、繰り越しはできません。※店舗によって土・日・祝日休業の場合もございます。※一部実施していない店舗もございます。

©尾田栄一郎/2016「ワンピース」製作委員会
©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション

IZAカード

HOKUREN Seeds PROJECT
チャリティ募金に
ご協力をお願いいたします

こどもはみんな、みんなのこども。
ラブ&ハート Love & Heart キャンペーン
7/16 SAT ▶ 9/30 FRI

ワンピース フィルム ゴールド
ONE PIECE FILM GOLD

7.23 [SAT] ROADSHOW